

★将来像(柱) きらめいて！ 自然の恵みが楽しめる豊かな暮らしを育てます

①自然環境の維持保全

- ・北播磨には森林が多くため池が多いので、森林を維持し、ため池をきれいにし、観光できるようにすばいと思う。
- ・私の地元ではホテルが有名で、ホテル祭りが年に1回あり、神戸からバスでたくさんの方が来てくれる。コロナが収まったら、またそういう機会を増やしていきたい。神戸や都会からたくさんの方が来てくれるのは、田舎にしかホテルはないからで、それをめずらしいと思って来てくれる。星もめずらしいとよく聞く。そこで、多可町や星がきれいな場所が北播磨にはいっぱいあるので、天体観測ができる場所を作ったら、北播磨に来てくれる人がもっと増えると思う。この地域にしかないものをもっとアピールしていけば、都会の方からたくさんの方が来る。その人たちが空き家を見る機会も作り、リメイクして空き家を使って住んでみたいと思ってもらえる機会があればいいと思う。(①北播磨らしい観光交流資源) (③空き家等の活用)

③防犯・防災意識の向上

- ・ペットを飼っている人が多いが、災害がおきるとペットと一緒に避難することができない。そこで、飼っているペットの種類や数を、事前に書類で提出しておく、避難する避難所の振り分けをしてくれるシステムがあればいいと思う。
- ・私は今までに大きな災害を経験したことがない。だから、若い人の防災意識も下がっていると思う。しかし、今後30年の間に、南海トラフ地震は起こると思うので、避難経路など、絶対に必要なものを学び、これからの時代に継いでいくことが大事だと思う。
- ・現在では一人暮らしが多いので、防犯のため、夜の街の見まわり隊を増やす。災害への対策は、橋の整備や備蓄食品の普及をし、災害対策ができればいいと思う。

④交通インフラの維持・整備

- ・電車が加古川線では1時間に1本しか走っていないので満員だったりする。そこで常に無人で走っている電があればいいと思う。常に走っていることで、好きな時間に電車に乗ることができ、乗客が分散し、満員電車を回避することができる。また、事前にインターネットで登録しておく、乗りたいときにすぐに無人のタクシーを呼べるシステムもあればいいと思う。
- ・外国人労働者が増えてきていて、正直それをよく思っていない人もいると思う。私も最近まではそうだった。通学路で労働者の方とすれ違うことが多い。3列、4列になって前から向かってこられると怖くて、一度ぶつかりそうになった。その時に「ごめんね」と片言で言ってくれ、この人たちは交通ルールを知らないだけだと思った。だから、私は「全住民交通安全講義」をすると思う。住民の方も、交通ルールを再確認することができていいと思う。

★将来像(柱) たのしんで！ 世代と文化を越え、誰もが笑顔であふれます

①子育てしやすい環境の整備

- ・私は仕事も育児も両立していきたい。そう考えている人は多いと思うので、安心して子どもを預けられる保育所が、自分の会社と同じビルにあったらと考えた。仕事が終わるまで預けることができ、何かあってもすぐに駆けつけることができ、安心できると考える。
- ・これからは今までよりもっと共働き夫婦が増えると思う。そこでベビーシッターを雇いたいと

思う方が多くなると思うが、ベビーシッターを雇うのではなく、お世話ロボットを活躍させるといいと思う。なぜロボットに目を付けたかという、ロボットは失敗がなく、他人を家にいれるという不安もない。決まった時間になったり、泣き声などに反応して、子どもをあやしたり、おむつを替えたりしてくれる。母親の電子機器とつなげると、子どもの様子をいつでもテレビ画面などで見ることができる。

- 病院と子ども園などが一緒にある施設ができればいいと思う。共働きの家庭が多くなってきているが、子どもが病気になった時に困るという話を聞いたことがある。そこで病院と子ども園が一緒にあると、子どもが病気になった時、病院が見てくれることで親の負担も減り、安心して子どもを任せられると思う。
- 2050年の北播磨地域は、今より子育て支援が手厚くなり、子育てしやすい環境になっていると思う。少子高齢化が進んでいるからこそ、子育てがしやすい環境というのは多くの女性や夫婦にとって理想と言える環境だと思う。飲食店では子どもの遊び場を要している店舗が増え、両親がゆっくり食事をするのができたり、また、社内に託児所を設ける企業も増え、女性の社会進出をサポートできる環境になっていると思う。子育てと仕事が両立できる、子育てがしやすい環境というのは様々な人にとって理想といえる環境だと思う。だから、国内外問わずに様々な国、文化の人が北播磨地域に住み始めていると思う。結果、様々な文化が交流し、地域状況が異なったり、お互いの文化に触れることができ、国際性が豊かになっていくと思う。また、現在ではまだ、肌の色や性別によって差別的な意識が残っていることが多々あるが、30年後には交流が深まることによって、そのような差別や区別的な意識もなく、国籍やその他性別なども問わず、様々な人が共生できるそんな地域になっていると思う。(②多世代交流・多文化共生)
- 今は保育園や幼稚園が不足して、入れない子どもがいるが、保育園と幼稚園が合併して入れる人数をもっと増やす。そして、仕事場にも、もしどうしてもの場合に預けるところができたり、女性が少しでも安心できるような環境をつくるといいと思う。
- 若い人などの子育ての悩みが増えている。いつでも子育ての悩み相談を聞いてくれる人を増やすといいと思う。
- 共働きの家庭が増えた時、子どもが病気になったり、夜遅くに仕事で親が家を出ないといけない時など、もしもの時に頼れる人がいない時、24時間子どもをいつでも見てもらえる、子育ての経験者がいるような施設があればいいと思う。何かあった時だけでなく、親が子育てに疲れた日や、子どもが学校帰りや休みの日に遊びたい時など、いつでもだれでも自由に足を運べるような施設があったら、親も子育てしやすく、子どもも住みやすいような地域になると思う。

## ②多世代交流・多文化共生

- 将来的には、技能実習生や外国人の労働者が増えて、その方達と交流する場が増えていると思う。そういう場所には、最近増えている空き家を使った古民家や、住民の方の家を開いて使うような「住み開き」があるかと思う。「住み開き」をすることによって、足腰が悪い高齢者など、あまり外出できない人との交流の場が増え、高齢者の方々の孤立を防げると思う。また、外国人の方々と各国の文化の交流や、技能実習生の方々への日本語講座を開いて日本語を学んでもらうなど、日本人と外国人との交流がしやすくなると思う。そのような場が開かれることによって、北播磨の好感度が上がり、外国人の移住者や定住者が増えると思う。(③高齢者福祉・医療の充実)(③空き家等の活用)

- ・外国人移住者を怖いと思うのは、相手を知らないから怖いのだと思う。だからお互いを知るために、交流の場があると思う。私達が考えているのは、市で取り組んでいるもち麦にちなんで、異文化交流を兼ねた「もち麦祭り」をするという企画だ。それが毎年行われることになり、将来的に外国人移住者とわかりあえるようになればいいと思う。
- ・北播磨に外国人だけが住むような団地ができれば、そこに高校生などが交流する施設などができて、日本語や日本語の文化を伝えることができたり、その逆で、教えてもらう授業などもできると思う。さらにその場所で、外国の祭りなどがあれば、実際に体験できて、外国の食べ物や遊びなどの文化を知ることができると思う。
- ・子どもに高齢者との交流の場を増やし、日本の文化を知る施設などを作ることができたらいいと思う。

### ③高齢者福祉・医療の充実

- ・私は将来就職のため、両親を残して実家を離れると思う。実家は田舎のため、車で通院や買い物に行く。もし家に父母が一人にいるときに急病で倒れたら、救急車を呼ぶ人がいない。助けられる人も助けられなくなってしまう。そこで、毎日、朝昼晩の健康状態を病院に送ると、自分の健康状態が更新されるシステムがあればいい。更新がされない時は、異変を察知し、電話をしなくても、救急車が来たり、医師が往診してくれたりする。そういうシステムがあると、私も両親も安心だ。
- ・コロナの影響で、重症患者がたくさん出たこともあり、持病を持つ人への救急車の手配がまわらないことが多くあることをニュースで見た。30年後は医療体制が大きく改善されていて、普段の道路の上に新しく救急車専用の道路ができて、より早く患者を運ぶことができるようになっていたらと思う。さらに、救急車にも種類ができて、重症患者用、持病を持った方用、軽症の方用など、レベル別に分かれたシステムになり、それぞれがいつでも安心して使えるシステムにすると、一人暮らしの高齢者も、安心して過ごすことができると思う。

### ④子ども世代のふるさと意識の醸成・教育

- ・捨てられていた猫など、保護されている動物たちと子どもたちがふれあうことができるテーマパークを設置し、動物の生命の大切さを理解してもらおうといいと考える。小中学生は交通安全教室が必ず学校で行われていて、生命の大切さを学ぶ機会が年に1回行われている。人の生命だけでなく、捨てられていた犬猫とふれあうことで、動物の生命の大切さが理解できる。勝手な判断で、動物が簡単に捨てられていることを子ども達に伝えることで、子ども達も悲しさや怒りを感じると思う。そうすることで、動物の生命の大切さも身近に感じ、動物の生命への意識も高まるのではないかと思う。

## ★将来像(柱) はつうらつと！ 「べっちょない」精神でつながります

### ①新たな働き方、若者のフロンティアの創出

- ・若者が働きやすくするために、残業を減らし、プライベートの時間を充実させ、働き方改革につなげることができたらいいと思う。

### ②地域の絆の醸成

- ・各地域の特産品のPRを北播磨内で実施し、特産品を各地に広げることができたらいいと思う。

### ③生活利便性の向上

- ・生活に役立つ配達システムができていたらと考えた。空に配達専用のパイプがあって、その中を荷物が飛び交い、各家庭に届けられるシステムだ。長時間の外出が難しい人や、仕事や子育て

てが忙しく手が離せない方などが、インターネット一つで簡単に注文ができて、荷物が早く届く便利な生活ができるようになったらと思う。

- 地面の至る所にGPS機能がついたセグウェイがあればいい。携帯や時計などの電子機器に、年齢・観光目的などを打ち込んだら、おすすめのスポットや年代にあった食事場所を提供してくれて、その場所までゆっくり説明をしながら案内してくれるシステムだ。自分が降りたいところを入れると、その場で降ろしてくれ、そのセグウェイは自分で元の位置まで戻ってくれる、とても安全で楽しいものだ。
- 今は電車が1時間に1本しかない。最低でも線路を2本に増やすなどして30分に1本になれば、田舎の人も都会に触れる機会がもっと増えると思う。
- 食品、生活用品をUber Eatsで各家に届けてもらうシステムがあると楽になり、高齢者の方にはとても便利になると考える。現在では田舎ではまだなかなか見られないが、都会の方では食べたいと思った食べ物や飲み物を、ほとんどの方が持っているスマホで電話をして注文をし、言った場所まで届けてもらうといったとても便利なUber Eatsが流行っていると思われる。次は日用品まで届けてもらうことが可能になると、仕事で帰りが遅くなる大人、車を運転する割合が少ない高齢者、体が不自由な方などにとっては、店に行き購入する手間が減り、買い物に行ったけど買うのを忘れてしまった時など、Uber Eatsがあるととても便利になると思う。Uber Eatsの利用の範囲が広がるといいと思う。

#### ④移住・定住の促進

- 移住・定住をしてきた人だけが暮らしている地域や町があればいい。そこには、住民が自由に意見を出し合い、集まれる大きな施設がある。そして、起業したい人は、その地域で店を出したりする。そうすれば、移住・定住を考えている人が来やすくなり、北播磨が活性化するのではないかと思う。
- 30年後の北播磨は、何度もテレビで取り上げられ、認知度も高くなった有名スポットが多くある町になり、毎日賑やかな生活になっていると思う。交通機関も整備され、便利な地域と知られて、移住してくる人が多くなっていると思う。
- 働きやすい職場環境を作り、住みやすい町づくりができればいいと思う。

### ★将来像(柱) リードする！ 産業の未来を切り拓きます

#### ①テクノロジーの活用

- 将来あったらワクワクすると思うのは月旅行で、将来的には民間人の月旅行が増えたらいいと思う。月の上を散歩したり、スポーツ大会などあったら楽しいと思う。
- AIやロボットなどが仕事をするようになっていくと思う。私はAIやロボットが仕事をするようになってきたら怖いと思う。ロボットなどは広がると便利だと思うが、AIやロボットだけに頼ることはよくないと思う。小中学生にロボットのすごさもそうだが、人として大切なことや、人間の温かさなどを知ってもらえる機会があったらいいと思う。
- テクノロジーが急激に発達し、その影響で仕事もガラッと変わっていくと思う。機械やロボットでの作業が増え、奪われる仕事もあると思う。その代わりに機会関係の仕事の内容が増えて、仕事自体の傾向に大きく変化があると思う。中学校では、技術の授業もあるので、技術の向上などすればいいと思う。
- これから地震や台風などの災害が増えてくると思うが、そんな時に一人一人の家にAIが作った、家からの避難経路や、災害時に避難する場所が正確に見られるようなものがあったら、災

害があった時でも、安心して避難できると思う。

## ②地場産業の活性化

- ・播州織で作られた服を有名人が着ていて、その服が着心地がよくて人気沸騰。SNS でも話題になり、若者を中心に注目され、服ブランドも立ち上がり、有名ブランドの一つとなっていたらいいと思う。

## ③新しい産業・雇用の創出

- ・自分が今までにやってきた仕事や持っている資格、得意なこと、やってみたいことなどをパソコンなどに打ち込めば、自分と会社両方にとって最適な職場を紹介してくれるアプリなどがあれば、自分の就きたい職業の職場が見つからないという人も、これによって解決できると思う。

## ★将来像(柱) また来たい! 「オモシロイ」で集います

### ②歴史文化資源の継承

- ・北播磨にある歴史ある場所が、アニメの聖地として話題になり、観光スポットとなる。そのスポットの説明は、そのヒットアニメに出演していた声優が音声で説明をしてくれ、人気沸騰している。その周辺だけでなく、少し離れた場所にも人が集まり賑やかな毎日になっていると思う。アニメで有名になったことで、幅広い年齢の人が町を歩く光景が広がっている未来になっていると考える。
- ・北播磨各地域にそういう場所があると思うが、その場所をガイドする地元の中学生などがいたら、それを見に来る人がある。実際にガイドする小中学生の子たちも、地元のことを知り、伝えることができるので、そういうのがあればいいと思う。

### ③空き家等の活用

- ・空き家に、まだ使える家具等を集めて、そこにみんなで集まって民泊として使えるようにしたり、フリーマーケットの会場として、そこにフリーマーケットで売る物を置いたりして、みんなと交流などを行っていききたい。
- ・廃校をランチカフェにしたらいいと思う。使われなくなった学校をきれいにリメイクする。メニューは、私たちが小中学校で毎日食べていた給食。揚げパンやカレーうどんなど、子どもの頃好きだったメニューが食べられる。今でも高校生になると給食が食べられなくて恋しいので、それをまた食べられるようにしてほしいと思う。
- ・これから空き家が増えた時に、空き家をカフェや歴史館など、子どもから高齢者まで、たくさんの人が交流できる場所として使用されたらおもしろいと思うし、地域がより盛り上がると思う。

## 【質疑応答】

○ITやAIが進んだうえで、今思えばとんでもないけれど、30年後はあるのではないかという発想はないか

- ・海外に電車で行ける。
- ・頭でこの人に送りたいとか、この文書を送りたいと思ったら、LINEや携帯を使わずに相手に思ったことが伝わる。
- ・電脳コイルというアニメに出てくるが、メガネで電話やメールができる。

○北播磨の今の状況が、どのように変わっていけば、ワクワクした気持ちになり、ずっと北播磨に居たいと思えるか

- ・今高校生は流行やファッションに興味のある子が多く、そういう職業に就く子も多いが、やはりそういうものは、東京や神戸や都会に行かないと触れられない。北播磨が流行の中心となったら若い子もいると思うが、働く上でも、都会の方が給料が高いので、都会に出たいと思う。私は看護師とか医療系の仕事に就きたいが、技術や設備などの面でも、神戸のような都会の方が進んでいる病院が多い。北播磨の病院や地域が、医療ともっと関わりを持つような 30 年後になれば、北播磨で働いたり、住んでいたいと思う。

○今のような都会との落差をなくすためには、どういことをすればいいと思うか。

- ・とても田舎に住んでいるが、電車が全然通っていない。電車の最寄駅が、家から車で 30 分なので、それをなくせばあまり不自由はない。
- ・このあたりのスーパーなど買い物をするところは、8 時や 9 時の早い時間で閉まってしまうところが多い。夜遅くまで仕事をしている人や夜勤で働いている人などは、帰宅時はお店が閉まっていることが多いが、都会は 24 時間開いているところが多いと思う。人件費の削減などの問題も、都会に比べて田舎の方が多いと思うが、その面を取り除いたらいい所になると思う。
- ・先ほど彼女が言ったように、交通が不便というのはあると思う。星がきれいに見えて、自然がきれいなのはいいことだが、学校の活動で遅くなってしまった時は、すごく真っ暗で通学路も前が見えないような場所や、道がガタガタしているところがある。秋になってきたら 5 時半とか、帰るのもちょっと怖いという感じなので、少し街灯が増えたり、あまりにもガタガタしているところは平らになったりしたら、仕事をしている人でも学生でも、大分安心して住めるようになると思う。
- ・交通のことで電車ももちろんそうだが、加東市に祖母が一人で暮らしているが、免許を持っていない。スーパーも少し遠くて歩いて行けないので、今は自分の母などが仕事がない日に一緒に買い物に行ったり、頼まれたものを買っていたりしている。そういう面でも、都会はもう少しタクシーなどの交通も整っているので、免許がない方とかにとっては、もっと交通が発展していったらいいと思う。

○今の不便さでなく、できる想像の中で、都会との格差を縮める方法がないだろうか。突拍子もないことでもいい。その頃こうなっていると楽しいのではないかと想像できないだろうか。

- ・今は東京に大きいイベントが集まっていたり、とりあえず東京から流行が始まるというイメージが強いが、イベントなどは、今年は兵庫県でやるとか、いろいろ場所を変えてやったら、田舎側にも活気があふれるのではないかと思う。

○イベントは、大きな施設がないとできないというのは思い込みで、田舎だと土地がいっぱいあって、広く使えるから野外で出来る。そうすると、大きな建物の中でやるという今のイベントと違うイベントになる。一見短所に見えるところを上手に使うという方法もある。こんな方法だったら現実的ではないかもしれないけど、ワクワクできるなということはないか。

- ・田舎ではとても星がきれいなので、考えられないほどの面積で星を観測できる大きいドームを作ると、観測したい人がいろんなところから来ると思う。

○プラネタリウムは都会でも作れるから、ドームを周りの光を全部遮断するような大きなドームにすると、自然の星が見えるようになるから、それがこの地域の売りになるかもしれない。

- ・毎年友達の家の近くのホテルを見に行くが、年々ホテルが少なくなっているの、ホテルの保護活動をして、ホテルを増やしていけたらいいと思う。

○ホテルは今全国で注目されている。西日本と東日本でホテルの点滅の間隔が違う。それを実際

に見せる方法を考えると、少し知的でみんなが来る。学校教育にも使える。

- 田舎のいいところというのは空気がおいしいところなので、いろんな建物ができたり、車が多くなると、空気が悪くなってしまうような気がする。空気がおいしいところを売りにしたいから、それをふまえた建物、ガスとか出さない建物が増えたらいいと思う。

○30年後はそういう技術があるかもしれない。そういう独特の技術を開発し、その技術をこの地域が持てば、ものすごく売りになると思う。